

## 評価細目の第三者評価結果

## 評価対象Ⅰ 保育の理念

## 1 子どもの最善の利益の考慮

	第三者評価結果
I-1 理念が明文化されている。	Ⓐ・b・c
I-2 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・b・c
I-3 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・b・c
I-4 理念や基本方針が保護者や地域の住民、関係機関等に周知されている。	a・Ⓑ・c
I-5 一人ひとりの子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c

## 評価所見

公立保育園としての役割を十分に理解し、理念と基本方針が立てられ、入園のしおりやパンフレット、市の広報誌などを通して、その理念と基本方針の周知を図り、その実施に向けて、鋭意努力がなされています。職員も理念や基本方針に対しての意識は高く、共通認識は堅持されています。

保育園として、子ども一人ひとりを大切な宝として保育にあたることを共通認識とし、一人ひとりの個性と人格を尊重した保育についての取り組みがなされています。また、その取組の結果の評価についても、システムの的に適切になされ、その質が担保されています。

## 評価対象Ⅱ 子どもの発達援助

## 1 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

	第三者評価結果
Ⅱ-1 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	Ⓐ・b・c
Ⅱ-2 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a・Ⓑ・c
Ⅱ-3 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	Ⓐ・b・c
Ⅱ-4 健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	Ⓐ・b・c

## 評価所見

健康管理は子ども一人ひとりの健康状態に応じて行われています。職員間の引継ぎ、伝達、情報の共有が図られ、保護者との連携も取れています。

食育計画に基づいて保育士、調理員が連携して個々の子どもの状況に配慮した対応が取られ、食事を楽しむ工夫がされていますが、食の大切さを考えるあまり、残さず食べることに拘ることのないよう期待します。

紙芝居や絵本で歯磨きや手洗いの大切さを教えるなど、積極的な工夫・指導もなされています。

## 2 生活と発達の連続性

	第三者評価結果
II-5 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	Ⓐ・b・c
II-6 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・Ⓑ・c
II-7 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	a・Ⓑ・c
II-8 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・Ⓑ・c

### 評価所見

家庭環境や生活リズムを把握して、一人ひとりを受容した保育が行われています。個別計画が作成され、実施されていますが、障害児のためのバリアフリーと使い易さへの配慮がもう一工夫なされると良いと思います。また、現場からの要望としても上がっていますが、乳児のほふく室の床材が堅く、改修が望まれます。

転園や就学に際しての申し送りやサービスの継続性は市内施設や機関への継続性は確保されているようですが、市外の施設や機関に対しても、継続性を確保できるよう期待します。

## 3 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
II-9 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	Ⓐ・b・c
II-10 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・b・c
II-11 指導計画を適切に作成している。	Ⓐ・b・c
II-12 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・b・c
II-13 保護者の関わりや子どもの活動等について理念や方針にのっとった方法が文書化され保育が提供されている。	Ⓐ・b・c
II-14 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・b・c
II-15 一人ひとりの子どもに関する保育・保育サービス実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・b・c
II-16 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・b・c
II-17 一人ひとりの子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・b・c
II-18 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・Ⓑ・c
II-19 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・Ⓑ・c
II-20 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされているような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	Ⓐ・b・c
II-21 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a・Ⓑ・c

## 評価所見

地域の実態に即したものとして、延長保育、土曜保育が実施されています。保育課程に基づいて、一人ひとりの発達や状況に即した指導計画が作成され、定期で見直しも行われています。

保育士の日々の保育の振り返りがあり、次の計画に反映されています。保護者の意見、提案が会議で検討されるなど、保護者の意向の把握・説明にも努力されています。

児童に関する記録類に対しては、記録の仕方などを定めたマニュアルなどは特に作っていませんが、主任のチェックと指導がなされ、守秘義務、個人情報保護法が遵守されています。

定期的にケース会議を開催し、子どもの状況に関する情報の共有が職員間で図られ、細心の注意が払われた保育がなされています。

保育室の内部や水回りの部分など、現場からは改修を望む声も上がっていますが、使い方を工夫するなど、ソフト面での対応で何とか凌いでいる状況がみられます。

就学を見通した取り組みもなされていますが、保護者アンケートからみると、十分な結果を生んでいないようです。今後は今までに増して改良・工夫し、保護者の満足度が高まるよう期待したいと思います。

## 4 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
II-22 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a・(b)・c
II-23 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	(a)・b・c
II-24 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a・(b)・c
II-25 子どもが主体的に身近な自然や社会とかがかわれるような人的・物的環境が整備されている。	a・(b)・c
II-26 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a・(b)・c

## 評価所見

外気温との差に注意し、危険な箇所は連絡しあって対応し、清掃にも気配りがされているなど、園内の環境整備は行き届いています。

失敗した子どもの心が傷つかないような配慮があり、絵本の読み聞かせや紙芝居など、情操を育むことに力を注いでいることが分ります。

保育園周りの歩道などが十分に整備されていない環境下にはありますが、散歩をはじめ、社会との接点を日常の保育に取り入れようと、園外環境との接点作り、交流の促進に鋭意、工夫・努力していることは大いに評価されます。

## 評価対象Ⅲ 保護者に対する支援

### 1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
III-1 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	(a)・b・c
III-2 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	(a)・b・c

Ⅲ-3 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者との共通の理解を得るための機会を設けている。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-4 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	Ⓐ・b・c

評価所見

当日提供された食事サンプルを掲示して子どもたちが何を食べているのかを具体的に保護者に伝える取り組みがなされています。また、園だより等を配布して、園での様子が分かりやすい工夫もされています。

保護者懇談会の他に保護者の保育士1日体験会も実施され、保育に対する保護者との共通理解を得るための努力がなされています。しかしながら、今までのところこれらの企画には参加者が少ないためもあつてか、園と保護者が子どもの発達や育児に対する共通認識を得るまでには至っていないようです。良い企画でもあるので、今後は、参加者が増え、園の意図が浸透することを期待しています。

虐待に対しては、不適切な養育や虐待を受けていると思われる子どもの早期発見のために虐待予防マニュアルが整備されており、関係機関と協働する支援体制にも配慮し、虐待の予防と早期発見に努めています。

2 地域における子育て支援

	第三者評価結果
Ⅲ-5 子どもと地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-6 地域の福祉ニーズを把握している。	a・Ⓑ・c
Ⅲ-7 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a・Ⓑ・c
Ⅲ-8 事業所が有する機能を地域に還元している。	a・Ⓑ・c
Ⅲ-9 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-10 ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-11 関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-12 利用希望者に対して選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-13 保育・保育サービスの開始にあたり保護者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・b・c

評価所見

地域のイベントに子どもたちが和太鼓の演技を披露したりして地域との交流を大切にしています。子どもたちにとっても日頃の練習の成果を発表できる良い機会となり、子どもたちの自信にもつながっているようです。

ボランティアの受け入れや地域の関係機関との連携も図られていますが、より積極的に地域のニーズを把握し、園の機能を地域に還元するような具体的な企画や対策が進められると、より地域と密着した子育て支援が達成できるものと思われます。

## 評価対象Ⅳ 保育を支える組織的基盤

### 1 健康及び安全の実施体制

	第三者評価結果
IV-1 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	①・b・c
IV-2 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	①・b・c
IV-3 子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	①・b・c
IV-4 アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	①・b・c
IV-5 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	①・b・c

#### 評価所見

思わぬ事故や感染症の発症などに備え、それぞれの緊急時対応マニュアルを整備し、子どもたちの健康の保持や安全確保のために組織的な対応ができるように体制を整備しています。また、子どもの安全を脅かす事例の検討を職員の参画のもとで行い、事故防止チェックリストを作成し、事故の未然防止策を講じています。

アレルギー疾患や慢性疾患をもつ子どもに対し、主治医からの指示のもと、子どもの状況に応じて適切な対応がとられており、衛生管理に関しても、マニュアルや自主点検表をもとに、食中毒等の発生時にも迅速に対応できる仕組み作りがなされています。

子どもたちの健康や安全に対しては定期的に検討され、緊急時はもとより、平常時においても子どもたちの安全確保のための体制が整備されています。

### 2 職員の資質向上

	第三者評価結果
IV-6 保育・保育サービスの質について定期的に評価を行う体制を整備している。	①・b・c
IV-7 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	①・b・c
IV-8 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	①・b・c
IV-9 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a・②・c
IV-10 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	①・b・c
IV-11 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	①・b・c
IV-12 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a・②・c
IV-13 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	①・b・c
IV-14 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	①・b・c
IV-15 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	①・b・c
IV-16 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	①・b・c

## 評価所見

保育士の自己評価とともに保育所としての自己評価が定期的に行われています。そこでは、保育士が自ら自己の保育実践を振り返り、さらには保育所全体で改善点の発見に努め、改善策をとるなどして、専門性の向上が図られています。

職員の配置等、必要な人材や人員体制については市の施策に依存しています。人事考課も主に市が実施し、個人面談を基礎に、成績考課、情意考課、能力考課などにより客観的な評価がなされています。また、年次休暇簿、出勤簿、勤務表により職員の有給休暇の消化率や時間外データ、疾病状況を把握することはもちろん、面談により個人の意向も把握して、福利厚生に配慮するとともに、職員が日々の業務に集中できるよう、環境作りに力を入れています。

個別研修計画、経年研修計画により職員一人ひとりについて教育・研修計画が策定され実施されています。職員別研修履歴や経験年数および担当児童の年齢等を踏まえ、個別の教育・研修計画の見直しも行われています。研修参加者は研修レポートを提出し、職員会議等で発表するなどして、個人の研修成果を職員間で共有化する取り組みもなされています。

実習生受け入れに関する意義や方針を実習生の受け入れマニュアルで明文化しています。受け入れに当たっては、各学校と園との間で覚書を取り交わし、事前打ち合わせにおいて園の方針を伝えるとともに実習目的の共有化を図っています。また、実習にあたっては、実習内容全般を計画的・効果的に学べるよう、園としての実習プログラムも用意されています。

### 3 運営・管理、社会的責任

	第三者評価結果
IV-17 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
IV-18 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
IV-19 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・b・c
IV-20 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・b・c
IV-21 事業計画が保護者等に周知されている。	Ⓐ・b・c
IV-22 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
IV-23 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a・Ⓑ・c
IV-24 子ども・保護者のプライバシー保護に関する規定・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・b・c
IV-25 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a・Ⓑ・c
IV-26 施設長自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・b・c
IV-27 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
IV-28 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
IV-29 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
IV-30 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	Ⓐ・b・c
IV-31 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a・Ⓑ・c
IV-32 外部監査が実施されている。	a・b・Ⓒ
IV-33 保護者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・b・c

## 評価所見

利用者満足度の一つの指標として、行事毎にその行事に対する保護者からのアンケート調査を行って、その結果を次回の行事や日々の保育に反映させるという、質の向上に向けた取り組みがなされており、この点における園の姿勢は大いに評価されます。保護者等からの苦情や意見の聴取および相談の受け付け体制に当たっては、保護者アンケート結果を見る限り、一層の気配りと配慮が必要のようです。保育園側は既にそのことに気付いており、改善に向けての努力がなされているので、今後、保護者との意思疎通がさらに向上することを期待したいと思います。

経営状況に関する分析や課題の発見については、市立保育園ということもあって、市政全体から見た状況分析になっていますが、保育園という現場から見た個別性を重視した分析や判断がもう少し保育園の事業計画に生かされても良いように思われます。保育園側からの独自の分析や課題の発見は、ハードとソフトの両面に良い影響を与え、園としての個別性に配慮された、より質の高い保育に繋がるものと思われます。

施設長は就任したばかりですが、保育の質や保育環境の改善に積極的に取り組み、課題の発見はもとより、その職責を果たそうと、鋭意、意欲的に努力しています。その思いが実ることを大いに期待したいと思っています。